



●あなたと市民センターをつなぐ情報紙

# そげっぱ通信



曾慶市民センター  
曾慶字神蔭32-1  
☎ 0191-75-2244  
FAX 0191-34-6630  
Email: info@yuin  
et-sogei.com

## 新年おめでとうございませす



曾慶地区の皆様、新年おめでと  
うございます。本年も当地区は雪  
が少なく穏やかな年明けとなりま  
したが、皆さまにおかれましては  
ご健勝で清々しい新年をお迎えの  
こととお慶び申し上げます。

さて、一昨年に新型コロナウイルスの感  
染法上の位置付けが2類から5類  
に移行したことにより、当地区に  
おいてもさまざまな事業やイベン  
トが復活しました。昨年も新年交  
賀会を皮切りに「ひなまつり」や  
「そげい夏まつり」、「曾慶地区文  
化祭」と「曾慶地区芸能祭」と4  
つの祭りが開催されました。曾慶

地区の特徴として、さまざまな事  
業に地域の皆さんが積極的に参加  
して作り上げていただいているこ  
とかなとありがたく思っているこ  
ろでございます。また、若い世  
代で構成する「わぎやすたーず」  
の活動としても今年3回目のクリ  
スマスイイベントが行われ、子ども  
たちのいい思い出作りにつなが  
たようです。これらは一過性のイ  
ベントではなく、住民主体の地域  
づくりの一環とも考えております。  
心配されるのは、ここに来て年  
末あたりから新型コロナウイルスとイン  
フルエンザの同時流行が始まり、予  
断を許さない状況となっております  
が、感染対策に配慮しながら、地  
域の交流を絶やさず今後につな  
げていければと考えております。

### 地域の目標実現に向けて 新たな地域づくりを

早いもので「結いネットそげい  
も令和6年度で設立から10年が  
経過しました。設立当時からみる

と少子化、高齢化も一段と進み、1  
0年前とはまったく違う状況が訪れ  
ています。5年ごとの地域づくり計  
画も見直し作業に着手したところ  
ですが、今後地域の皆様からご意見を  
いただきながら、新たな計画に反映  
させていただきますとともに、組織の見  
直しも行っていきたいと考えていま  
す。また、令和4年度より市民セン  
ター等の指定管理を受託し、市のこ  
指導をいただきながら、適切な施設  
管理と事業運営に努めてきたところ  
ですが、地区の皆様と共に地域の目  
標である「心も景色も美しく住み続  
けたい私たちの曾慶」を目指し、よ  
り住民目線に立った特色ある地域づ  
くりを進めてまいりたいと存じます  
ので、皆様のさらなるご指導ご鞭撻  
をお願い申し上げます。

最後に、地域の皆さまのご健勝と、  
本年が穏やかでよりよい年になりま  
すようご祈念申し上げます。新年のこあ  
いさつといたします。

結いネットそげい  
会長 足利徳夫



news!

## 4月1日から行政区名が「曾慶」になります

結いネットそげい令和5年度総会の承認を受  
け一関市長宛に提出していた「行政区名変更に  
ついての要望書」に対して、令和7年1月10日  
付で要望どおり変更する旨の回答をいただきました。  
要望の内容としては、『曾慶地区における  
行政区名を「渋民」から「曾慶」に変更する』  
というものです。具体的には一関市行政区及び  
行政区長に関する要綱(令和2年一関市告示第86  
号)の別表が改正されるものです。

これにより渋民村の名称がなくなった昭和3  
0年の町村合併以来、70年もの間使われてき  
た「渋民〇区」の行政区名が曾慶地域に限り「曾  
慶〇区」に統一されます。もともと地域協働体  
や自治会、体育協会や交通安全協会分会等の各  
種団体は曾慶他区独自で活動しており名称も曾  
慶となっていますので、これに連動して各種団  
体の名称が変わることはありません。曾慶の名  
称がより身近になることとなります。

## どんと祭で無病息災を祈願

1月13日、曾慶地区センター東側駐車場で曾慶地区どんと祭が開催されました。昨年から新たに実行委員会の体制を立て直して開催しているどんと祭ですが、この日は1年間お世話になった注連飾りやお札等を持った人が次々と訪れました。午後には修祓式の後にお焚き上げが行われ、今年1年の無病息災を祈りました。

どんと祭来場者には実行委員会から甘酒と産土(うぶすな)三社(熊野神社・羽黒神社・山神社)の祈祷神札が配られました。



正月飾り等が積み上げられ、宮司さんによる焚き上げ前の祈禱が行われました

## “秘宝”の謎解きに挑戦!



講師：秘密結社クーゲルシュライバー森英隆さんから子供達へ緊急クエスト発動!

学びの土曜塾「冬休み編」が1月10日に興田市民センターを会場に行われ、曾慶地区から4名の子供達が参加しました。『DaitoQuest～大いなる東の秘宝～』をテーマに、興田市民センターにあるとされている秘宝の謎をチームのみんなで力を合わせて謎解きに挑戦しました。

工作では牛乳パックを使って、お正月にぴったりの羽子板を作りました。キラキラテープを張り付けたり、絵を描いたりそれぞれ個性あふれる羽子板が完成しました。お昼休みにはバレーボール記念館で羽子板を楽しみました。

## 和やかに 令和7年新年交賀会を開催



艶やかに祝舞を踊っていただいた直派若柳流梅寿会の菊池正子さん



来賓の方も地域住民の皆さんも終始和やかに懇談しました

令和7年の曾慶地区新年交賀会が1月8日(水)、曾慶地区センターを会場に開催されました。地域住民や来賓の皆さん50名近くが来場し、新年の抱負等を語り合い、和やかに懇談しました。



司会進行を務めていただいた佐藤正男さんと岩淵友教さんのお二人



余興で素晴らしい喉を披露していただいた曾慶民謡会の佐藤正夫さんと佐藤吉郎さん →



◎大船渡新春ロードレース大会10マイル駅伝  
**冬の大船渡路を快走し好成績!**

1月12日に大船渡市で行われた大船渡新春ロードレース大会の10マイル(16キロ)駅伝の部に「そげいチーム」が参加しました。4人の選手の平均年齢は39.7歳と昨年(59.3歳)よりも大幅に若返ったチームは一本のタスキをつなぎ、冬の大船渡路を快走。1時間59秒のタイムでゴールし県内外から参加した68チーム中17位(昨年43位)と素晴らしい成績を上げました。現地では選手の家族や曾慶体協の役員も応援やサポートに駆けつけ盛り上げました。今回の快挙に曾慶体協の足利健市郎会長は「仕事の合間や休日を使って練習した成果。汗と根性を込めたタスキだった」と選手を讃えました。選手たちは来年もさらなる活躍を誓い合いました。



写真左より▷1走 足利浩昭(4区)▷2走 須藤克頼(3区)▷3走 内村直也(6区)▷4走 岩淵蓮(13区)

曾慶体協よりお知らせ  
**バドミントン大会 参加者募集**

豪華な参加賞を用意して、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

◆日時…2月2日(日)午後1時30分開始

◆会場…曾慶体育館

冬期間の体力作りにいかがですか?



**「そげいのひなまつり」を開催** 

恒例となった「そげいのひなまつり」は曾慶の三大祭りのひとつ。今年で第11回を数えます。



曾慶の女性たちが一針一針思いを込めて縫った吊るし雛や干支のぬいぐるみ等の作品はとても見応えがあります。

◆期日：2月28日(金)～3月3日(月)

いずれも午前9時～午後3時まで公開

◆会場：曾慶地区センター ◆入場無料

◆主催：手まりの会 / 共催：曾慶市民センター  
 ※今回も期間中、あんこたっぴり「大判焼き屋」と「かめちゃんキッチン」が出店します。

《ひなまつり協賛開催 地域づくり講演会》

**なまっついでって コミュニケーション** (仮称)

◆講師…東北弁落語家 六華亭遊花さん

◆日時…3月1日(土)午後2時～3時30分

◆会場…曾慶地区センター多目的ホール

今回の地域づくり講演会は東北弁落語家の六華亭遊花さんです。標準語と筋金入りの東北弁を駆使してテレビやラジオで活躍。明るく温かく愛嬌のあるキャラクターで人気を博しています。



東北弁をこよなく愛し、コミュニケーションの大切さも伝えています。入場無料です。ひなまつりをご覧になりながら、ぜひ会場に足をお運びください。

全国古民家再生協会  
 第11回再築大賞

**佐藤工夢店「大東の家」が最高賞に輝く**

曾慶の佐藤工夢店(株)が建築した「大東の家」が全国古民家再生協会による「第11回再築大賞」で古民家移築・再築部門で最高賞の国土交通大臣賞に輝きました。代表取締役社長の佐藤誠さんの自宅でもある曾慶宇砂子田の家は築70年の古民家をリノベーションしたもので、梁や柱など古民家の骨格は生かしながら耐震性や断熱性能を高め、エネルギー消費を極力抑え快適な住環境を確保したことが高く評価されました。 2021年に完成した「大東の家」→



# そげいびと

## ③0 足利健市郎さん(74) ~曾慶字留館~



### 大船渡駅伝のチーム監督 選手たちの頑張りにもエール

1月12日に大船渡市で行われた新春ロードレース大会10マイル駅伝の部に参加した「そげいチーム」の監督を務め、素晴らしい成績を残し喜びでいっぱいになった足利健市郎さんからお話を伺いました。「選手には『ありがとっ、お疲れさん』の一言。各人が寒い中時間を見つけては練習した結果。また家族の応援がさらなる力をくれたと思う」と話します。選手たちに対しては、「本当に走ることが大好きで根性と素質を持っている若者たちなので、この先もコツコツと怪我なく走り続けてほしい」とエールを送ります。

自身も子どもの頃から走ることが大好きで、中学に入り校内マラソンに参加したときは、滝までの往復をなんと、学生ズボンのまま走って2位でゴール。それから本格的に陸上へのめり込

み、大東高校の陸上部を経て60歳まで走りました。中でも長距離が好きで「走っているときは苦しいけれどゴールしたときの達成感がたまらない。走った後のビールも最高」と話します。

### 曾慶体育協会長務め8年目 仕事では重機の運転を50年

前任の岩淵敏男さんから体協会長のタスキを渡されて8年目。「体育行事にはいつも参加者の皆さんの笑顔や笑い声が響き地域の活力を感じる」と話しながらも、「コロナ禍や雨の影響で、8年間一度も地区民運動会を開催できていないことを残念がります。一方、年中通して毎晩自分に御神酒をあげて、お天気祭り」している」と笑います。

高校を卒業してから一旦は家業を継ぎましたが、建設会社に入り、車の運転から始まり重機(バックホー)の運転を約50年。その技術は誰もが認める名手です。仕事で心がけていることは「接触事故を起こさないよう、そしてとにかく綺麗に仕上げる」と初心を忘れずに日々操縦レバーを握っています。上は24歳から下は1歳の8人の孫の成長が何より楽しみと話す健市郎さん、昨年は子供たちから夫婦で招待され、福島で古希のお祝いをしてもらい「最高だった」と笑顔がこぼれます。最後に「曾慶は他より多彩な行事があり、元気がある。一家庭が一行事に参加してもらえばさらに元気な地域になるのでは」と話していただきました。

## 曾慶の人口と世帯数

令和7年1月1日現在

行政区	世帯数	男	女	合計
1区	28	35	26	61
2区	68	89	91	180
3区	50	62	74	136
4区	49	67	72	139
5区	65	78	68	146
6区	39	56	56	112
7区	30	38	40	78
13区	35	48	39	87
こはぎ荘	46	19	27	46
合計	410	492	493	985
前月比	△3	△2	△2	△4



新館  
しんだて

## 曾慶百景

文化財調査報告書第15集増補「大東町の城館」によると、安全寺の西側と曾慶グラウンド(旧曾慶小)の間、神蔭の小高い山に『新館(西館)』があります。本丸の下には二の丸、三の丸、四の丸や堀も確認されています。

新館は中館(曾慶城)から移すべくして築城されましたが、完成を見ることはなかったようです。天正18年(1590)、城主の岩淵兵庫守元秀が葛西大崎一揆に加担し討死したことによると憶測されます。